

令和 6 年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市ウェルネスパーク・むつマエダアリーナ	
指定管理者	団体名	山内土木株式会社
	代表者	代表取締役 山内将邦
	所在地	青森県むつ市大湊新町 37 番 12 号
指 定 期 間	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 3 1 日 （3 年間）	
指 定 管 理 業務の概要	① 施設の使用許可に関すること。 ② 施設の利用料金徴収に関すること。 ③ 施設の維持、管理及び修繕に関すること。 ④ 施設の特性を活かした利用促進に関すること。 ⑤ その他施設の設置目的を達成するために必要なこと。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

 ※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用
 などの賃金を含まないこと。

(単位：千円)

区 分	年 間 計 画 額 ①	上 半 期 実 績 額 ②	増 減 (②－①)
収 入 合 計 (A)	230,852	113,541	△117,311
うち利用料金額	30,620	13,479	△17,141
うち指定管理料	199,878	99,878	△100,000
支 出 合 計 (B)	230,852	106,495	△124,357
うち人件費	103,720	52,414	△51,306
収支差 (A－B)	0	7,046	7,046
市 へ の 納 入 金	0	0	0
計画額と比較した 実績額の増減理由	※上半期終了時は記載不要		

3. 施設利用の状況

(単位：人)

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②－①)
利用者数	センターハウス	21,564	10,792	△10,772
	克雪ドーム	55,808	38,439	△17,369
	ウェルネス会員	46,056	22,978	△23,078
	アリーナ	71,308	136,360	65,052
	見学者	0	613	613
	合計	194,736	209,182	14,446
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・ 無 ） [お声] 更衣室のシャワーが熱すぎるので夏場だけでもシャワー温度を下げてください。 同意見多数あり、お願いします。				

[対応] 2週間に1回シャワー温度確認はしていますが、大型の貯湯槽から送られる関係上、個別サーモを使用してもどうしても若干のばらつきが出てしまうこともあり、すべての利用者の方に適切な温度のお湯を届けるのが難しい状況下にあります。 今回の対応として夏場は若干温度の低いシャワーと適温のシャワー、冬場は若干高いシャワーと適温のシャワーと2つご用意することでばらつきをカバーするように致しました。 対応後3カ月程度経過していますが、その後同様のお声は現在頂いておりませんので、しばらくこのまま様子を見ていきたいと思います。
--

4. 自主事業の実施状況 (単位：人、千円)

事業名	利用者数	収入	支出
むつ市ウェルネスパーク自主事業	22,978	14,812	10,754
むつマエダアリーナ自主事業	1,604	481	720

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果を上げることが見込まれる。

B（適正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ改善の余地がある。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	B

④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B
-----------------------	---	---

6. 指定管理者総合評価 ④自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

- (1) ①両施設の休館日が異なる為、各施設の状況や問い合わせを、いずれの日においても双方の施設で行う事が可能となりました。大会主催者との打ち合わせを適切に行うことにより大会当日の開館時間について柔軟に対応し利便性向上に努めました。
- (3) ①自社修繕を基本とし、維持管理スキルの習得、向上を行い管理経費低減に努めました。
- (4) ②修繕発生時には、市と連携し問題解決に向けて事象の共有や工事業者との連絡を迅速に取り施設維持に貢献できました。
- (4) ③法令違反は1件もございませんでした。
- (5) ①HP やラインでの情報共有など利用者の方々が平等に利用できるように努めました。
- (5) ③維持管理職員による毎事巡回点検、全部署による迅速な情報共有、毎月の全体研修会の実施、火災だけではなく地震を想定した避難訓練の実施をする事により危機意識を常に持ち、安心して安全な施設環境の提供ができました。

7. 市の所管課総合評価 ④市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

- ・施設の修繕について自社修繕を基本としていること、また、自社修繕に向け技術の習得に励み施設の維持管理費の削減を心がけている点を評価する。
- ・各種 SNS 等を活用し日常的に施設の情報発信をすることで、利用者が情報を得やすい環境の提供に努めており、施設の利用促進に励んでいる点を評価する。
- ・今後時期的にも電気使用量の増加が見込まれるが、こまめな消灯やスペースごとに空調コントロールを行う等、節電対策に引き続き努めていただきたい。